

令和3年度第1回あわらし郷土歴史資料館運営協議会会議録

日 時：令和3年5月25日（火）

午前10時00分から

場 所：金津本陣 IKOSSA 3階

市民文化研修センター研修室1

（日程）

1. 文化学習課長 あいさつ

2. 委員長 あいさつ

3. 報告

（1）前回運営協議会でのご意見を受けて実施した事項について

4. 議題

（1）令和2年度郷土歴史資料館事業報告について

（2）令和3年度郷土歴史資料館事業の見通しについて

5. その他

（出席委員）

水野 和雄

吉田 純一

宇都宮 高栄

能美 進

荒木 秀子

寺井 玲子

（欠席委員）

長谷川 裕子

（事務局）

文化学習課長 笹木 幹哲

郷土歴史資料館館長 平井 俊宏

郷土歴史資料館副館長 九千房 英之

郷土歴史資料館学芸員 林 淳

郷土歴史資料館 角 衣利奈

【文化学習課長 あいさつ】

【委員長 あいさつ】

【報告】 前回運営協議会でのご意見を受けて実施した事項について

（事務局より説明）

委員長：何かご意見はありますか。

委員：館内で文化財に関する映像を放映して何か反響はあったか。

事務局：長い映像が流れている月は、映像を1時間ほど見ている来館者もあり、需要があったことは感じた。

委員長：映像はホームページに掲載予定か。

事務局：資料館のホームページに直接載せてはいないが、滝瓦の番組は市のホームページで、芦原と金津の民話については市がユーチューブの公式チャンネルで公開している。なお、市では現在デジタルトランスフォーメーションの推進を検討しており、当館でもデジタルアーカイブを構築する予定で、今後どのような画像や映像をどのように公開するか検討していくことになる。

委員：講演会やふるさと講座を映像化しないのか。

事務局：ユーチューブを利用したオンラインでの同時配信映像がストックされており、後日でも見ることができる状態になっている。

委員：ホームページで過去の展覧会の配布資料を公開することは今後も続けてほしい。

委員長：ユーチューブやホームページで流す場合は著作権に留意されたい。

【議題1】令和2年度郷土歴史資料館事業報告について

(事務局より説明)

委員長：ご質問はありますか。

委員長：出張講座とはどんなものか。

事務局：出前授業は学校へ授業に行くもので、出張講座は学校以外の各地域に講座に行く。

委員長：出前授業は何年生が多いのか。

事務局：小学校3年生から4年生が多い。3年生は社会科の授業の導入として地域の歴史を説明、4年生は何時代について等項目を絞った話をしてほしいと相談がある。

委員長：利用団体表をみると小学校2年生が多いが、展示を理解するのは難しいのではないだろうか。3年生や4年生にもっと来てもらいたい。

事務局：2年生の来館時には、この資料のすごいところなどを中心に説明している。また博物館が、歴史や文化を伝える施設であるという紹介もしている。

委員：出張講座の内訳は。

事務局：昨年度は牛ノ谷区と女性議員から要望があった。過去には菅野区、本荘地区などで地域の老人会から声がかかって行った。

委員長：福井市の場合だと公民館の歴史講座講師の依頼がある。

事務局：公民館から声がかかったこともある。また、年に1ヶ所か2ヶ所ずつ、各地区の祭に合わせ、公民館で地域の歴史を展示することを考えている。

委員長：大人を対象にして、現地の遺跡や文化財を巡回する企画をしてはどうか。

事務局：今年度は金津奉行展の関連イベントで金津宿巡りを企画している。偶然中央公民館も同様の街歩きイベントを同時期に企画していたため、公民館と共催で実施することにした。案内は金津まちなかガイドの方をメインにお願いし、展覧会に関係する場所は学芸員が解説する。

委員長：コロナ禍なので外で見て回る方がいい。実際に見るのと映像は違う。資料館の事業として実施していつてもらいたい。

委員：ふるさと学習を重視しているので、学校が利用するようにアピールが必要。2年生は生活科の授業の中で歴史を含めた身近な生活を学ぶために来館している。5、6年生は総合的な時間の授業でテーマを自分達で選び調べを行っているので、館へ足を運んでもらえるよう学校への働きかけが大事だ。

委員長：横山古墳群は立派な遺跡なのに誰も行かない。吉崎や春日神社、神宮寺城跡なども、実際に現地で見学会をするなどしないといけないと思う。

委員：子どもに伝えていくことはもちろん大事だが、地域のことを知らない大人が多い。地域を見て歩くきっかけがなくなってしまっている。館がきっかけを作る企画を実施したり、地域の拠点である公民館で展示をしていただきたい。地域の基本である地名や字を保存し公開して欲しい。

委員長：市内にガイドのボランティア団体があるが、どこを案内できるのか掴んでおくこと。ガイドに対して指導や育成を行い、この場所はこのガイドに案内してもらえるとという情報を資料館が集約し連携できたらいい。

事務局：細呂木や吉崎、金津にガイドがいる。ガイドが温泉の案内をしているが集客がなく困っていた。各ガイドから相談を受けることはあるものの指導等は行っていない。今後連携できたらいいと思う。

委員：地域のお宝を企画展で掘り起こし展示することで、市内の他のところからも展示の依頼がかかるかもしれない。

委員長：館には資料を展示できるケースがあるので、地区のお宝を公民館で積極的に展示して行ってほしい。

事務局：地元の資料調査を継続して行っているが、中には行政の調査を受け入れてもらえないところもある。しかし代替わりによって対応が変わったり、展示の企画や資料の公開を通じて少しずつ対応が変わることもある。地元の資料を展示すると、それを見た方から関連資料を寄贈していただけることも多い。また、館の常設展は公民館より展示環境はいいものの、個別のケースの環境は良いものではなく、大きい資料が出せないなど課題もある。

委員長：職員が資料を監視し所有者が安心できる展示方法であれば、露出展示でもいいと思う。

委員：地区のお宝を募集して来館者に投票してもらってコンテストを開催し、表彰する企画を行えば、地区の取り組み方も変わってくると思う。地区で大事にしているものを互いに意識するようになっていくのではないかな。

【議題2】令和3年度郷土歴史資料館事業の見通しについて

(事務局より説明)

委員長：トリックアート等のイベントは広報しているのか。

事務局：コロナ禍のため周知にくい面もあり、市の広報には載せてない。積極的に情報を取りに来てくれる人向けにフェイスブックに情報を載せるとともに、館内限定でチラシも掲示した。

委員長：何人くらい来たのか。

事務局：何回も撮っていた人もいるが、人数は細かく数えなかった。受付で声かけを行ったが、撮ってくれる人もいれば、断られた人もいた。

委員長：地元の人に資料館を利用してほしい。市内の人、近隣の人に確実に広報できるやり方を模索してほしい。

事務局：イベントによっては学校や公民館へチラシをまくこともある。

委員長：県外からはどれくらい来ているのか。

事務局：入り口にある「どこから来ましたか？」のボードに貼られたシールを数えると184人いた。県外の方は来館記念の感覚もあるのかよく貼ってくれる。市内の方は子どもが遊び感覚で貼ってくれるが、市内県内の大人はあまり貼らない。また広報のチラシの送り先については、現在ほぼ県内の施設のみである。県外には、資料を借用した場合にその施設にチラシを送付する程度だが、隣の加賀市をはじめ、金津奉行展では金沢市辺りの施設まで送付してみようと考えている。

委員長：小松市の講演会に行ったときに事業の案内がほしいか問われた。イベント時などに事業イベントの資料が欲しいか聞いてみてはどうか。

事務局：講演会のアンケートにイベントの案内の有無を問う欄がすでにあり、希望者には発送している。

委員長：アンケートに名前や住所まで書いてくれるか。

事務局：書く欄を設けており、情報がほしい方は書いていただけている。

委員長：新幹線の開業事業に向けた企画を検討してほしい。

事務局：開業時は越前狛犬の企画展を予定している。また開業後半年ほど経ったタイミングで、吉崎御坊に関する大きな特別展開催を考えている。当初吉崎御坊の展示は御山開山550年記念として開催する予定だったが、新幹線開業が1年ずれた影響もあって、その冠は外して行おうという話になった。

委員：明治30年、昭和20年の駅舎の歴史や、仲仕組の石碑に焦点を当て展示してみてもいいかもしれない。

委員：新幹線駅舎の中に展示スペースを確保できないのか。

事務局：物を展示するスペースは作られる予定であるが、芦原温泉駅から東尋坊や恐竜博物館など県北部の観光に繋がる広域の物を展示する計画となっており、何が展示できるか分からない状況である。

委員長：他にご意見やご質問はありますか。無いようなのでこれにて議事を終了します。